

令和6年度 消費生活相談の概要

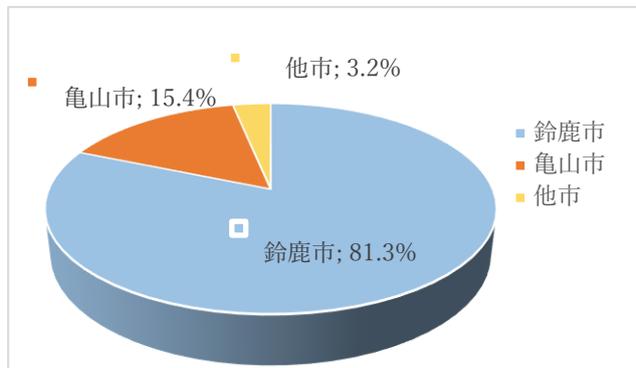
1. 相談の状況

○相談総件数

1, 639件 (137件/月)
前年度比99.3%、12件減少

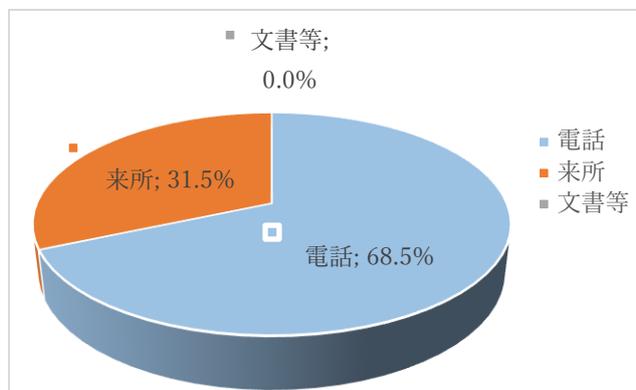
○相談者の住所別

鈴鹿市 1,333件
亀山市 253件
他市 53件



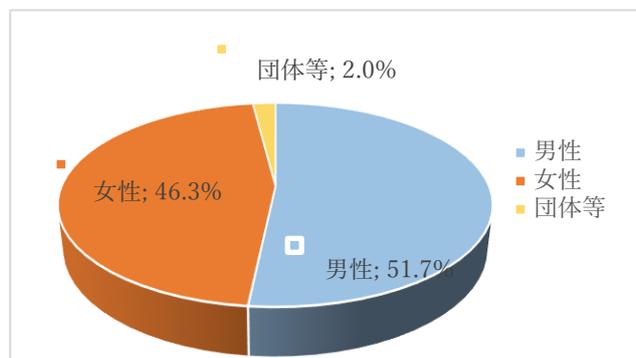
○相談方法別

電話による相談 1,122件
来所による相談 517件
文書等による相談 0件



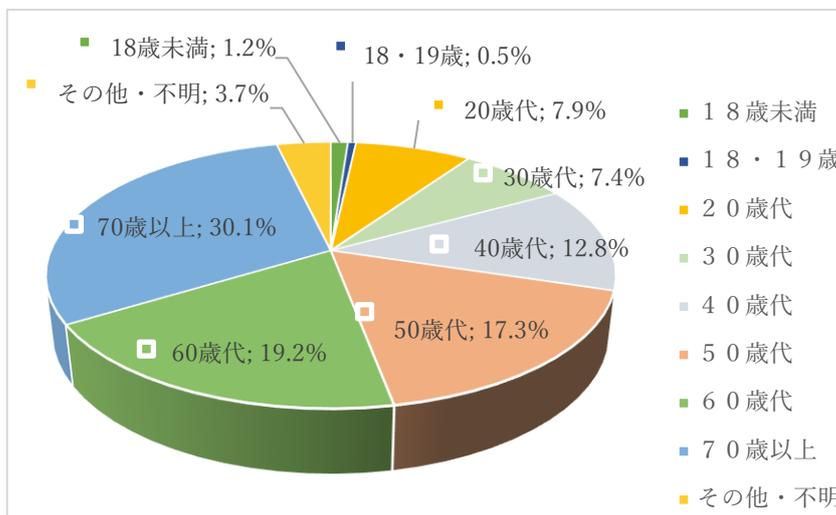
○性別

男性からの相談 847件
女性からの相談 759件
団体等からの相談 33件



○年代別

18歳未満 19件
18・19歳 9件
20歳代 129件
30歳代 121件
40歳代 210件
50歳代 283件
60歳代 315件
70歳以上 493件
その他・不明 60件



○弁護士相談件数

81件（前年度81件）

2. 相談の内容

○役務サービスに関する相談：325件（前年度319件）

- ・大手通信会社の関連会社と思われるところからの高額請求に関する相談
- ・インターネットによる動画の視聴における高額請求に関する相談
- ・訪問してきた事業者と締結した光回線契約の解約に関する相談
- ・パソコンでインターネットを使用中に「ウイルス感染の警告画面」や「突然大きな警告音」をきっかけとしたセキュリティソフトやサポート契約等に関する相談

○不審な電話・訪問・郵便物に関する相談：230件（前年度183件）

- ・心当たりのない口座引落とし、商品や請求書に関する相談
- ・架空請求のハガキ・封書・SMSに関する相談
- ・知らない人からのメールにより金銭を要求されることに関する相談
- ・身に覚えのない「+」で始まる番号からの入電に関する相談

○化粧品等に関する相談：155件（前年度131件）

- ・SNSやテレビショッピングサイト等でのお試し価格表示のある定期購入に関する相談
- ・期間の定めのない定期購入に係る解約手続に関する相談

3. 啓発活動

○出前講座実施状況

公民館教室、老人会、サロン、まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、幼稚園、保育園（所）、小・中学校等

鈴鹿市 49回（1,077人）

亀山市 21回（446人）

合計 70回（1,523人）